第　５　７　号
令和４年１１月１５日発行
― 編集・発行 ―
豊津地区まちづくり委員会
(情報発信専門部)

とよつだより

第15回とよつふれあい運動会

～つなげバトン　努力と笑顔と感謝をのせて！～

コロナに負けるな！　楽しく開催

十月八日、新型コロナウイルスの感染対策を講じて『第十五回とよつふれあい運動会』を開催しました。

奇しくも、第一回ふれあい運動会の開催は、平成十八年の十月八日。その時のスローガンは、「**いまこそひとつ　とよつのちから　ちいきのわ**」でした。初の合同運動会で不安いっぱいの開催でしたが、その後、地域の子どもたちの成長を地域全体で喜ぶとともに、老若男女が競技を通して触れ合う中で、絆を深めていくことができる地域の一大イベントとして、綿々と継続されてきました。

残念なことにコロナ禍で中断していましたが、できる範囲でやってみようという学校の判断から、晴れて三年ぶりの開催となりました。児童の種目の合間に実施した地区種目は三つだけでしたが、参加された皆さんは楽しい時間を過ごされたようです。

今回のスローガンは、「**つなげバトン　努力と笑顔と感謝をのせて！**」です。このふれあい運動会を、着実に次の世代・学年へバトンをつないでいこうという気持ちが強く込められた素晴らしいスローガンですね。

この一歩は、きっと来年度以降の開催に向けた大きな一歩になるものと考えます。開催に際し、実施種目の選考や当日の役割等でお骨折りいただいたまちづくりセンター職員やまちづくり委員の皆様、小学校関係者、そして参加された皆さん、たいへんお疲れ様でした。

（▼開会式の様子）

大会長（豊津小学校長）　小沼　剛

運動会も、学校教育活動の一つです。日々の教育活動一つ一つにも狙いが設定されています。児童のより良い成長を願い、様々な狙いを達成するために、学校教育が実施されています。

今年度、新たな形での「ふれあい運動会」が実施できたことは、児童にとって、さらにより良い活動になったことと思います。

関係いただきました皆様に感謝申し上げます。ありがとうございました。

副大会長（まちづくり委員長）　和田　勉

三年ぶりに実施された「ふれあい運動会」。コロナ禍による制限があったにもかかわらず、多くの方々の参加をいただきました。本当にありがとうございました。

今回の子ども達の元気な演技が、応援席に向かって実施できたことは、歓迎の気持ちがとても強く伝わったと思います。いろいろな制限の中での運動会でしたが、豊津地区の皆さんの元気がうかがえる一時だったと思っています。

▲児童たちから感謝を込めて玉手箱の手渡し

情報発信専門部では Facebook, Twitter でも豊津まちづくりセンターの情報を発信しています。(URL、QR コードは2面)
鹿嶋市のホームページでも豊津の情報は見られます。（URL、QR コードは3面）

第１５回　とよつふれあい運動会

令和４年 10 月 8 日（土）8 時 30 分～

※　赤字は地区種目

開会式

1　クイズチャンピオン
2　ハッピーハロウイン
　（1～3年生：個人種目）
3　山あり　谷あり！
　（4～6年生：個人種目）
4　二人でゴー！
　（1～3年生：団体種目）
5　成長を感じて！
　（6年：親子競技）
6　応援合戦
　（全校児童）
7　つなひき
　（全校児童）

8　大玉転がし
9　巻き起こせ、豊津旋風
　（4～6年：団体種目）
10　レッツ・ダンス！！
　（1～3年：表現運動）
11　ウィズ　グラティチュード
　（4～6年：表現運動）
12　玉手箱（６５歳以上の高齢者）
13　豊津っ子ソーラン
　（全校児童）
14　紅白対抗リレー
　（全校児童）

閉会式

（　終了：11 時 38 分　）

「ふれあい運動会」の一コマ

①

④

②

⑤

③

（写真説明）
①校門脇で受付と検温・手指消毒／②今回のクイズチャンピオンは坂本紗良さん（小学５年生）に／③地区種目の大玉転がし／④低学年の可愛い表現運動／⑤高学年の見事な表現運動

～ 運動会が実施に至るまで ～

＊第一回実行委員会（七月十四日）
・この二年間できなかったふれあい運動会を実施したい。
・食事は不安なので、午前中で終了させる。
＊第二回実行委員会（九月十三日）
・参加者の名簿を作成して、当日は受付で手指消毒・検温をする。
・地区種目は、児童種目の間に、密にならない種目を三つ実施。
・今回は特殊な開催とし、コロナ終息後は従来の形に戻したい。

まさかに備え　合同防災訓練

七月十六日、鹿嶋市と豊津まちづくり委員会が合同で防災訓練を行いました。市では、避難所ごとに担当する職員が決められており、今回は豊津公民館担当の六人の市職員が来ての訓練となりました。

今回の訓練は、茨城県で大きな地震が起き、豊津公民館が避難所として開設され、避難者を受け入れるという想定のものでした。新型コロナウイルス感染症がまだ終息していませんので、感染拡大防止に配慮した訓練となりました。

避難者を受け入れるにあたり、まず市職員が入り口で検温と問診を行い、コロナ感染の疑いがないことを確認してから、避難者名簿に名前等を記入してもらい、避難スペースへ誘導を行いました。

避難スペースでは、感染防止用のワンタッチ避難ルーム（テント）や段ボールベッドを避難者が自分たちで実際に設置しました。ベッドは割と簡単に組み立てられましたが、テントはたたむのに少し苦労したようでした。

あいにくの空模様だったということで、訓練に参加した地域の方は十七人と少なかったのですが、地域のリーダーの方が多く、もし災害が起きた時には今回の訓練の成果が生かされることでしょう。

URL　　QR コード　Facebook　Twitter

Facebook(フェイスブック)：https://www.facebook.com/toyotsumachi
Twitter(ツイッター)：https://twitter.com/toyotsumachi

豊津地区コミュニティプラン②

豊津地区コミュニティプラン 第一回検討会開催

前回の「とよつだより」で、豊津地区コミュニティプランの概要と策定委員会で十分に審議されなかった問題、今後の進捗管理方針について書きました。

その時、『今後の進捗管理において、できるだけ多くの関係者（団体）と協議の場を設け、「地域の力」を高められたらと考えています。』と記載しましたが、その協議の場として、九月十八日に第一回検討会を開催しました。

検討会のメンバーは、計画作成の際に結成した豊津地区コミュニティプラン策定委員会の構成委員と基本的に同じとしました。ただし、区長等充て職で選ばれている委員は当時と変わっていますので、現職の方にお願いしております。

第一回検討会では、コミュニティプランで計画した事業を令和五年度にどう実施するかを話し合いました。

コミュニティプランは令和二年度に作成し、令和三年度から五年度までに実施する事業を定めております。しかし、コミュニティプランの策定委員会が一回しか開催されず、プランの内容についての議論はなかったこともあり、この事業の中には、コミュニティが実施するものとしては適当ではないものや、内容が精査されず、文言だけ書かれて具体的内容がわからないものも多くあります。また、計画期間が三か年なので、多くの事業を行うのには無理があります。

さらに、コミュニティプランには既存事業の継続と新規事業を定めていますが、令和三年度は既存事業だけの実施でした。令和四年度についても、既にまちづくり委員会総会において今年度実施する事業は決まっており、その中に新規事業ほとんど含まれていません。

つまり、これまで新規事業はほぼ着手がされておらず、新たに実施するには、残りの期間がほとんどない状況にあります。

そこで、新規事業については、まずコミュニティが行うには適当でない事業を整理し、検討対象外としました。

さらに残りの事業のうち、既存事業に付加する形でできるものを対象としました。検討した結果、この事業であれば来年度一年でもある程度実施可能と判断しました。

今回はこの絞り込みまで行い、具体的な事業展開については事務局とまちづくり専門部会で詰め、次回の検討会で決定し、令和五年度のまちづくり事業に反映していきます。

具体的事業については、次回のとよつだよりで報告する予定です。

⇓ 検討会の様子

豊津地区コミュニティプラン検討会委員

No	氏　　名	所属団体等
1	和田　勉	まちづくり委員長　他
2	海老澤　良政	まちづくり副委員長　他
3	宮本　勝典	新田区長
4	内野　安彦	大船津第一区長
5	松岡　重喜	爪木区長
6	糟谷　純子	うらら会会長　他
7	内田　博道	おおふなつ自警団
8	坂本　大輔	豊津小学校ＰＴＡ会長
9	伊原　健市	消防団
１０	高安　広子	市社会教育委員
１１	桐生　進一	市役所協力委員
１２	君和田　浩幸	市役所協力委員
１３	沢畑　好一	豊津まちづくりセンター長

手先に集中　ハーバリウム作り

９月１１日、山口智美さん（大船津：山口生花店）を講師に迎え、楽学セミナー「ハーバリウム作り」を行いました。
思いどおりの場所に材料のプリザーブドフラワーを置くことができず苦労していたようでしたが、皆さん、最後はキレイな作品ができあがりました。

ホタル見学会

7月2日(土）午後7時～
開閉会式 ： 豊津公民館
見学場所 ： 流 川

今年のホタル見学会は、豊津小全校生徒数に近い申し込みがありました。当日は欠席者が数名いましたが、人数が多かったので２班に分かれて見学に行きました。
６月末に暑い日が続いたためか、流川は藻で覆われていて、ホタルがなかなか見つかりませんでした。今年はダメかなと思いましたが、終り間際にホタルを見つけることができ、喜んだと同時にホッとした見学会でした。

リトルファーム　収 穫 祭　8月6日

５月にふれあい農園に植えた野菜や花が実り、収穫祭を行いました。
きゅうり、すいかの収穫、百日草やヒマワリの花摘みをし、すいかは皆で美味しく食べました。
他にかき氷や枝豆もふるまわれ、お土産に切り花を持ち帰り、少ない参加者ながらも、楽しい収穫祭でした。

ボッチャ体験　10月21、23日

東京パラリンピックなどで知られるようになった「ボッチャ」。どれだけ的にボールを近づけられるかを競う、誰でもできるヨーロッパ生れのスポーツです。
既に同好会が週１回公民館で活動していますが、さらに愛好者を増やそうと体験会を開催しました。
１２月１８日には地区対抗ボッチャ大会を予定しています。

田んぼ体験（稲刈り）　9月8日

豊津小学校の4～6年生が、黄金色に実った稲を鎌で手刈りしました。学校支援ボランティアなど、地域の方々の指導を受けて、上手に刈ることができました。

この景色いいね！②

今回のテーマは、「自然」。四季折々に、いろいろな表情があります。皆さんは、どこの景色かわかりますか？

★★つぶやき★★

私はこの夏、茨城県警が制作した交通安全動画〝その手で合図、止まってくれてありがとう〟（主演・アントキの猪木さん）に出演しました。横断時の合図、停まってくれたドライバーへの会釈、横断歩道の積極的な利用と反射材の着用促進、歩行者保護意識の向上を図ることが目的だそうです。道路交通法には歩行者優先の原則が定められており、「謝意まで求めるのか」という意見がある一方、横断歩道で停止した車にお礼をする中学生を見て『心がほっこりしてうれしくなった』という新聞への投書も見かけました。動画には、県内のキャラクター達もたくさん登場しています。多くの方に見ていただき、交通事故が一件でも減ることにつながればと切に願います。（k）